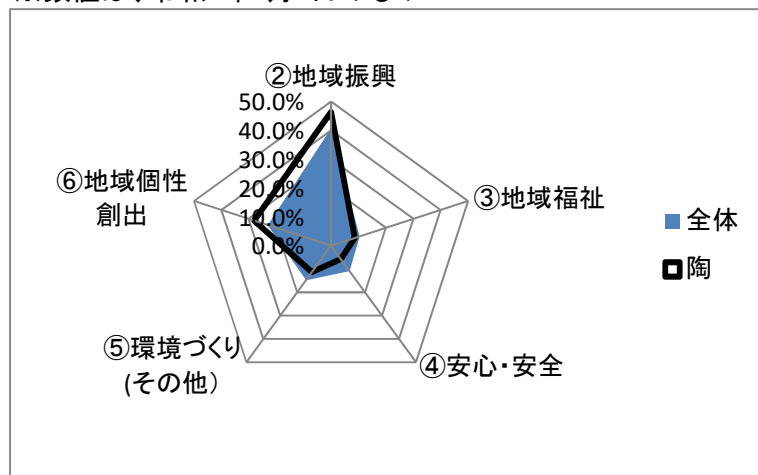


## 陶連合自治会 地域づくり交付金事業概要(令和4年度)

### ■地域の情報

地域人口	2,187人	自治会数	16
世帯数	913世帯	自治会加入率	77.0%

※数値は、令和5年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	10,177,000 円
交付金決算額	10,177,000 円
その他収入	67,047 円
交付金決算額／配分額	100.0%

### 各分野の決算

①協議会運営	4,258,851 円
②地域振興	1,207,501 円
③地域福祉	225,564 円
④安心・安全	148,836 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,375,000 円
⑤環境づくり(その他)	296,820 円
⑥地域個性創出	731,475 円
決算総額	10,244,047 円

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

第3次陶地区地域づくり計画の最終年度となり「みんなで作ろう笑顔でつながるふるさと陶」のキャッチフレーズのもと、「少子・高齢化」の地域課題を考慮し、コロナ禍の経験を活かしながら「オール陶」の体制で積極的に取組を進めていく。

### ■総括

「陶地区民運動会」、「三世代交流」等のイベントは、市内のコロナ感染状況を鑑み中止としたが、「陶クリーン作戦」及び「ふれあいまつり」は、昨年度後半のコロナ感染対策の経験を活かしながら実施した。これも、若者グループが行事実施に消極的な高齢者グループに行事が出来る方向性を示しながら、率先してリードしたものである。しかしながら、福祉部会行事については、主に高齢者グループの活動が多く、カフェ等飲食を含む行事があることから万が一を考慮し中止せざるを得なかったところである。

また、これから目指す陶の将来像を実現するため、若者の意見を十分に取り入れる「陶これから部会」を立ち上げ、意見交換会を実施し、第4次陶地区地域づくり計画を作成した。今後の地域づくりに向けて大きな成果に繋がっていくものと期待している。

### ■分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営体制
② 地域振興	人材発掘・人材育成、広報活動の推進、ふれあい行事の開催、活動グループの育成
③ 地域福祉	地域福祉講座の開催、子育て支援の推進、三世代交流の推進、高齢者のサポート、健康管理活動・保健講座、小規模福祉の輪づくり、交通弱者支援事業
④ 安心・安全	自主防災活動の推進、交通マナーアップinSUE、反射鏡設置・修復
⑤ 環境づくり	土木工事：法定外公共物、陶クリーン作戦(道路環境美化)
⑥ 地域個性創出	再発見「素晴らしい陶」、陶ふるさと大学、地元文化育成、陶ブランドの立ち上げ、文化財保護活動、コミュニティ・スクールの支援

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	運動会・ふれあいまつり	決算額	350,000円
	目的	2年続きのコロナを吹っ飛ばし、みんなで行事を盛り上げ、ふれあいつくりを推進する。		
	実施内容	①陶地区民運動会、②陶夏フェス、③陶ふれあいまつり、④陶友遊カフェ		
	実施時期	①陶地区民運動会(4月)、②陶夏フェス(8月)、③陶ふれあいまつり(11月)、④陶友遊カフェ(9月、2月)		
	参加人数	795人		
	成果	①②④の行事は、市内のコロナ感染状況を鑑み中止した。 ③の行事は、飲食ブース(7カ所)、野菜等販売・遊戯コーナー(5カ所)を設け、受付では中学生ボランティアが入場者へリストバンドを配布し、時間短縮型で実施した。		
	評価	「陶ふれあいまつり」では、陶のメインイベントの火を消さないようにと若者グループが率先して開催に向けた企画会議を重ねたうえで、建設的な提案や方向性を示しながら、コロナ禍においても工夫して実施することができた。		
	今後に向けて	今年度の経験を活かすとともに、内容の見直しを検討する。		
②	事業名	陶クリーン作戦(道路環境美化)	決算額	296,820円
	目的	国道、県道、市道周辺や通学路をきれいにし、道路環境を美化する。		
	実施内容	地区内の国道、県道等の周辺や通学路の環境美化、陶中央公園の清掃を実施した。		
	実施時期	7月、11月、2月		
	参加人数	503人		
	成果	7月で50回目を迎えた清掃作業は、コロナ禍により分散集合により作業を実施した。		
	評価	清掃作業では、小・中学校の児童生徒、先生や企業の参加が多くなった。		
	今後に向けて	高齢化に伴い、作業工程や方法の見直しを検討しながら環境美化に努める。		
③	事業名		決算額	
	目的			
	実施内容			
	実施時期			
	参加人数			
	成果			
	評価			
	今後に向けて			